

(1) 開会

(2) 校長挨拶 学校協議会では積極的なご意見を伺い、学校運営に反映していきたい。

(3) 協議

① 平成29年度学校経営計画のまとめについて(校長より報告・説明)

図書室の利用について、現在進行形であるため、評価は△にしている。

今年度、はじめての取り組みとして、PTAと連携のもと、災害時の児童生徒を保護者に引き継ぐ際に使用する引継ぎカードの運用を開始した。備蓄品や個人用持ち出し袋の紹介、理解啓発の実施を行った。今年度は個人用持ち出し袋の提出率が低かった。来年度袋に入れる物の要件を検討する。

他の取り組みについての評価は、おおむね○と◎であった。

② 平成30年度学校経営計画について(校長より説明)

平成28年度学校経営推進費を活用した読書活動の充実への取り組みが3年目となり総括する年度となる。授業での図書室の利用は増えている。更なる図書室の充実に努めたい。

学校組織の見える化と学部・分掌の連携強化について、今年度追記した。

③ 学校教育自己診断アンケートについて

第2回学校協議会をうけて、課題としてあがった項目に対して、情報提供を意識的にを行い、課題の検証を担当部署中心に行った。

・保護者のアンケートの回収率が昨年度より少ないことについて

数字の単なる上がり、下がりではなく保護者の回収率は大切である。アンケートの回収率は保護者の学校に対する関心の高低であると学校は受け止めねばならない。

・居住地交流について

中学部からも希望はあるが、教科教育、行事等で難しいのが現状である。現在は小学部が中心である。

・保護者と教員は立場が違う。アンケートの結果に隔たりが出ることもあるだろう。

学校の取り組みを広く知ってもらい、アンケートの結果を活かし学校の次の取り組みに活かしていく。

・第2回学校協議会の意見を受けての取り組み

通学路の安全を確認するために、東地区学校園生活指導協議会の中で、地域中学校、警察と連携し、校区のハザードマップの作成をはじめた。来年度に向け、自主通学の生徒や、徒歩学習の際に危険な箇所をマップに載せ、情報提供したい。

(4) 連絡・報告

① 学校運営協議会について

校長より報告・説明 平成30年より位置付けが変わる。

② 今年度の進路の現状と報告

今年度は一般就職、職業訓練校受験を希望する生徒が多かった。生活介護の事業所は、

近隣の八尾市、大東市も視野に進路を決定した。

④ 地域支援活動の報告

リーディングスタッフ活動報告

(5) その他

- ・委員として学校協議会に参加し、支援学校の現状を知ることが出来た。支援学校は地域となじみが薄いと感じていたが、地域役員会に情報を発信し、地域として、支援学校へ協力をできるように働きかけたい。
- ・地域への見える化を考えたい。
- ・地域の学校として、生徒との交流はあるが、教職員間でも現場での取り組みや、生徒への支援の方法について交流できればよいと思う。
- ・地域に向けて、支援学校の行事の案内はまわるが、その行事の様子や結果についても発信してほしい。
- ・小学部・中学部・普通課程（肢体）と生活課程（知的）との交流が少ないとあったが、親同士も交流が少ない。親同士の交流のためにも、PTAの役員は肢体と知的の両方の課程から参加してもらえればよい。

(6) 閉会